

2016年2月24日

**高齢化社会に向けた取組み**  
**ココアによる排便コントロールの効果が実証されました**  
 ～第31回 日本静脈経腸栄養学会学術集会（2016年2月26日）で発表～

森永製菓株式会社（東京都港区芝、代表取締役社長・新井 徹）は、1997年よりココアの機能性について積極的に研究を重ね、その一例として、寒い季節に特に有用な機能性である「冷え性抑制効果」、「抗インフルエンザウイルス効果」などについて研究を行ってまいりました。

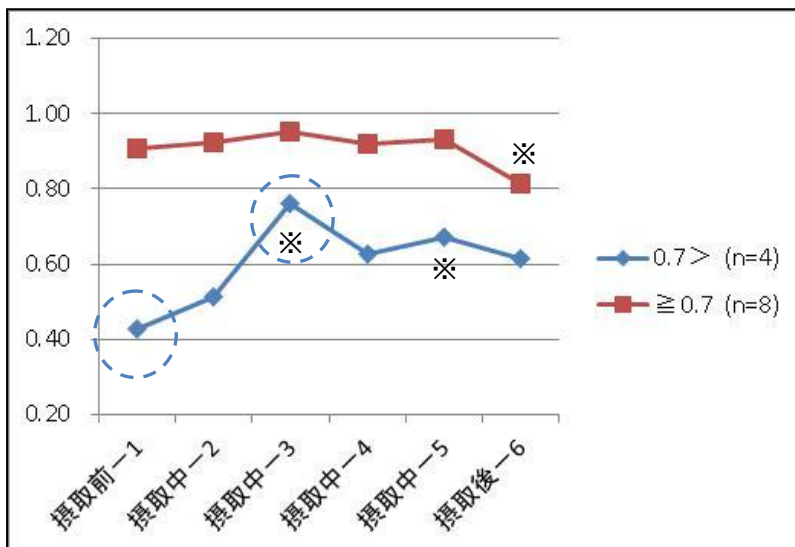
また、2014年2月に横浜で開催された第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会では、多くの病院や介護施設でココアが利用されていることを報告しました。今回は、ココアが医療や看護・介護の現場で活用されている目的の一つである「ココアの飲用による排便コントロールの効果」について検証を行い、2月26日に福岡で行われる第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会で順心リハビリテーション病院と共同で発表いたします。

今回の報告では、高齢者を含む多くの患者の方を看護している順心リハビリテーション病院（兵庫県加古川市）のスタッフの方24名に、ココア単独、またはココア+オリゴ糖を2か月間、毎日摂取していただき、排便に関するアンケート調査を行いました。

調査項目は、排便日数（調査日数に対する、排便有り日数の割合）、排便回数、排便性状、排便臭としました。試験飲料は、ココアを含む飲料とし、その排便コントロール効果を検討した結果、今回調査したすべての項目で改善が認められ、特にそれぞれの調査項目で、改善がより必要と思われるスタッフほど、その効果が顕著であり、望ましい結果が得られました。

下の図は、ココア単独摂取群の排便日数の解析で、摂取開始前から摂取後までの3か月間の排便日数の変化を表しています。青い線は排便日数70%未満の便秘気味のスタッフ群、赤い線は排便

**■ココア単独摂取群の排便日数の解析**



摂取開始前2週間、摂取期間8週間（2か月）、摂取後2週間の

計3か月間を、2週間ごとに区切った軸

日数70%以上のスタッフ群です。

便秘気味のスタッフ群（青い線）は、摂取前の2週間（グラフ内の「摂取前-1」軸）では排便日数が40%強（2週間で5～6日）であったのに対し、摂取中の3～4週目（グラフ内の「摂取中-3」軸）では排便日数が80%弱（2週間で11日前後）と、有意差をもって排便日数の改善が認められています（※印は、摂取前との比較で有意差があることを示す）。

なお、排便日数70%以上のスタッフ群（赤い線）では摂取前と摂取中での変化は見られませんでした。

また、第31回日本静脈経腸栄養学会学術集会では、ココアの臨床での応用について、飯塚升美先生（社会医療法人関愛会佐賀関病院）が「麻痺・拘縮のある経腸栄養患者の難治性下痢に対して純ココアが有用であった一症例」と題して発表されます。

<病院・施設でのココア活用事例>（森永製菓調べ）

施設名	発表タイトル	発表場所
埼玉医科大学総合医療センター高度救命救急センター(埼玉県)	ココアと救命救急センター:ココア添加経腸栄養の試み	バイオインダストリー、vol.16, 1999, 49-56 他
医療法人緑水会 宜野湾記念病院(沖縄県)	長期経腸栄養患者の銅欠乏に対する、ココアによる銅補充及び維持療法の検討	日本老年医学会雑誌、vol.37, 2000, 304-308 他
公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立市民病院(神奈川県)	広範囲褥瘡のある低栄養患者に対してココアを使用して栄養改善がはかれた一事例	静脈経腸栄養、vol.27, 2012, 589
自治医科大学消化器肝臓内科(栃木県)	短腸症候群に対する長期中心静脈栄養下で、銅欠乏による汎血球減少が認められ、ココア内服療法により改善を得られた一例	日本消化器病学会雑誌 vol.106, 2009, A401
鳥取市立病院(鳥取県)	ココアゼリー経口摂取による褥瘡のある長期臥床患者の創傷治癒促進に対する援助	鳥取市立病院雑誌 Vol.16, 2008, 69-74
特定医療法人壽生会 壽生病院(島根県)	褥瘡治療におけるココアの有効性:長期経腸栄養患者の微量元素の吸収と褥瘡との関連性	第36回日本看護学会論文集 老年看護、2005, 48-49
特定医療法人新仁会 奈良春日病院(奈良県)	ココア使用による褥瘡の早期改善	褥瘡会誌、2012, 155
社会医療法人関愛会 佐賀関病院(大分県)	経腸栄養患者(経胃瘻的空腸瘻)の難治性下痢に対してココアが有効であった一例	静脈経腸栄養、vol.27, 2012, 349, vol.30, 2015, 319
JA長野厚生連 北信総合病院(長野県)	寝たきり患者の排便コントロールの検討:ココアの効果	日本農村医学会雑誌、vol.58, 2009, 305
JA岐阜厚生連 西美濃厚生病院(岐阜県)	Predominant copper deficiency during prolonged enteral nutrition through a jejunostomy tube compared to that through a gastrostomy tube	Clinical nutrition vol.30, 2011, 585-589
聖路加国際病院(東京都)	Cocoa Supplementation for Copper Deficiency Associated with Tube Feeding Nutrition	Internal medicine, vol.45, 2006, 1079-1085.
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院(兵庫県)	赤穂中央病院NST活動について:ココアプリン考案	赤穂中央病院HP
佐賀社会保険介護老人保健施設サンビューさが(佐賀県)	ココア投与中断に伴って生じた長期経腸栄養高齢入所者の貧血に対するココア再投与の有効性	看護科学研究、vol.10, 2012, 57-60
医療法人三矢会 八街総合病院(千葉県)	完全静脈栄養中に鉄不応性の貧血を来し、ココアの利用で改善した多系統萎縮症の一症例	静脈経腸栄養、vol.24, 2009, 973
新日鉄室蘭総合病院(現、社会医療法人 製鉄記念室蘭病院)(北海道)	経腸栄養患者にココアを用いた排便コントロールの検討	静脈経腸栄養、vol.23, 2008, 347 新日鉄室蘭総合病院医誌、vol.41, 2008, 62-64
公益社団法人宮崎市医師会 宮崎市医師会病院(宮崎県)	高齢患者の排便コントロールの検討:ココアの効果	第37回日本看護学会抄録集 老年看護、2006, 24-25
独立行政法人国立病院機構 琉球病院(沖縄県)	抗精神病薬を服用している認知症高齢者の排便コントロール:ココア飲用による効果	沖縄県看護研究会集録、2012, 27th, 31-34
医療法人社団研究会 上川病院(東京都)	臨床において確認されたココアの便通・便臭改善効果	月刊総合ケア、vol.12, 2002, 88-90
千葉県がんセンター(千葉県)	食道癌術後縫合不全、短腸症例にて貧血で発見された鉄・銅欠乏症:ココア投与の効果	第21回千葉県NSTネットワークプログラム・抄録集、2013, 15
特定医療法人社団順心会 順心リハビリテーション病院(兵庫県)	便秘改善にココア療法を試みて	第7回順心会・のじぎく福祉研究交流会、2013
国家公務員共済組合連合会 佐世保共済病院(長崎県)	ストーマ造設患者に対する便臭改善効果~ココアを飲用して~	第38回日本看護学会抄録集 成人看護2 2007, 85
医療法人仁心会 福山病院(鹿児島県)	ココアによる排便習慣の改善~ラキソバロン液に頼らない排便コントロール	九州精神神経学会・九州精神保健学会プログラム・抄録集、2012, 65th-58th, 132
町立大淀病院(奈良県)	経腸栄養中の患者に対する排便コントロール(ココアを試みた症例)	静脈経腸栄養、vol.29, 2014, 476
東京医科歯科大学(東京都)	食道癌術後経腸栄養による銅欠乏性貧血に対してココア注入が有用であった1例	静脈経腸栄養、vol.29, 2014, 498
北社市立甲陽病院(山梨県)	長期空腸栄養管理での銅欠乏症例の検討と対策	静脈経腸栄養、vol.27, 2012, 102 およびvol.29, 2014, 498
医療法人鶴谷会 鶴谷病院(群馬県)	脂漏性皮膚炎様の皮膚症状を呈し、ココアによる銅補充療法が奏功した長期経腸栄養中の銅欠乏症の1例	静脈経腸栄養、vol.30, 2015, 320

森永製菓は引き続き、企業理念である「おいしく、たのしく、すこやかに」をモットーに、ココアの機能性の研究を進め、高齢化社会を見据えたココアの活用による介護者の負担軽減や非介護者のQOL (Quality of Life) の維持をめざし、医療や介護施設でのココアの利用拡大に取り組んでまいります。